

終了報告書(3ヶ月以上用)

報告年月日 2019 年 1 月 17 日

留学プログラム名	TKT CAMPUS ASIA		
所属学院等 (学院/類/学部/研究科)	環境・社会理工学院 融合理工学系		
所属系・コース等 (系・コース/学科/専攻)	地球環境共創コース		
卒業予定	2019 年 9 月	帰国時の学年	学士/修士/博士 2年
留学先国	中華人民共和国		
留学先大学等	清華大学		
留学期間	2018 年 9 月 8 日 ~ 2019 年 1 月 15 日		
留学中に受給した 奨学金	受給の有無: <input checked="" type="radio"/> 有 / <input type="radio"/> 無	種別: <input checked="" type="checkbox"/> 給付 / <input type="checkbox"/> 貸 与	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 / <input type="checkbox"/> 一括 3000 人民元
	奨学金名称: 中国政府奨学金		

報告事項

① 留学先大学(機関)の概略

② 留学前の準備

・学士課程で留学した場合:

研究室配属、学士論文研究、学士特定課題研究、就職活動または大学院入試と留学との兼ね合いを含め、卒業までの計画をどう立てたか。

・大学院課程で留学した場合:

就職活動、修士・博士論文などとの兼ね合いを含め、修了までの計画をどう立てたか。

・その他

留学情報の入手方法、専門分野・語学の準備方法、留学先の研究室に所属した場合は、留学先大学の指導教員との準備、ビザ取得方法、住居の探し方など。

③ 留学中の勉学・研究

授業登録の有無、授業や研究方法についての感想。

※履修登録した科目と履修結果、また、その結果についての自己分析

(※についてはHP非公開です)

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

ボランティア、インターンシップ、旅行、スポーツなど、幅広く体験を記入してください。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

他国の学生等との交流、海外における勉学・研究等の学校生活や日常生活を経験して、自身の成長を実感したことと思います。留学前に立てていた目標に対する達成度や苦労話など、何でも結構ですので、自身の成長を実感した中で一番記憶に残っているエピソードを記入して下さい。

⑥ 留学費用

渡航費、生活費、住居費、保険料、奨学金の有無など。

⑦ 留学先での住居

寮の有無、申し込み方法、ルームメイト、その他。

⑧ 留学先での語学状況

例えば、授業、研究には〇〇語が必須だが、生活は〇〇語を利用。留学前の TOEFL 等語学試験は、〇〇だったが、十分であった(最初の2, 3ヶ月は苦勞した)など。

⑨ 単位認定(互換)、在学期間

留学中に取得した単位の認定(互換)を東工大で行ったか(行う予定か)。在学期間の延長を行ったか。

⑩ 就職活動

留学先で行ったこと、また帰国後どのように活動する(予定)など。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

① 今回留学したのは清華大学です。世界大学ランキングで毎回上位にランクインしているので、ほとんどの方は聞いたことがあると思います。一応総合大学という事になっていますが、理系重視とも言われています。中国では理系の清華、文系の北京大学と言われています。面白いことに、北京大学と清華大学は道を挟んですぐ隣に位置しており、お互いの学生がお互いの授業を聞きに行くこともあるそうです。大学は五道口という、東京で言う高田馬場のように大学が集まっている場所に位置しています。主に飲み屋やショッピングモール、美容院、病院などありとあらゆる物が揃っています。大学の面積は東京ドーム 87 個分もあり、大学内をバスが走っています。また、学生は基本的に一人一台自転車を持っていて、授業の時間になると自転車が滝のように流れていて、道を渡るのにも一苦勞です。

前述した通り、大学が非常に広く大学外に出るのも一苦勞です。そのため、大学内にはスーパーマーケットや床屋、音楽ホールまで存在します。大学外に行くのは友達と飲みに行くくらいでした。

寮について。学生数が非常に多く、中国人学生は主に4人部屋で生活をしているようです。ただ大学院生になると、3人部屋になったり、部屋が広くなったりと多少住みやすくなるみたいです。

② 留学の準備について。

元々帰国してから就職活動を始めようと思っていたため、特に留学により就職活動へ影響が出るといったことはありませんでした。留学先では研究室に所属しました。自分の研究テーマと関わりのあるような研究室の教授にメールをしました。二人に送り、一人から返信があり最終的にその教授から受け入れ許可を頂き所属が決定しました。中々、交換留学で受け入れ先を探すのは大変かもしれませんが、根気強く探すのが良いと思います。元々東工大での研究テーマが中国であったため、現地の研究室でも同じテーマで研究していました。

③ 留学中の勉強、研究について

元々、研究室には所属せず授業のみの留学を予定していましたが、出発直前に受け入れ研究室が決まったため、研究センターの留学に変更しました。ただ、最初の内は、中国語の授業なども聴講という形で参加させて頂きました。全て中国語で行われるため、もし中国語の授業を受ける

予定ならば、事前に中国語の学習を進めていくことを強くお勧めします。

研究室の活動としては、毎週木曜日にゼミがあり全員発表することが義務付けられています。中々東工大で毎週進捗をメンバーの前で発表するという事は無いかもしれませんが。最初の方は毎週研究とゼミの資料作りに追われかなり忙しく感じました。ただ、段々と慣れてきたので最後の方は特に問題を感じませんでした。私が所属するまでは中国語でゼミを行っていたのですが、教授の方針として全員が英語で発表を行うようになりました。ただ、せっかく中国に留学したので最終週には中国語で発表させていただきました。

④ 特に清華大学のサークルなどには参加しませんでした。また今回はキャンパスアジアのプログラムで留学させていただきましたが、東工大のようにキャンパスアジア生向けの交流会などは一切ありませんでした。ただ、偶然 KAIST から留学していた韓国人のキャンパスアジア生と知り合えたので自分から探せば交流が出来ると思います。

また旅行にも行きました。嬉しいことに日本から友達が訪中してくれて上海、そして北京観光などしました。また一人で土日を使い、成都、重慶にも旅行しました。

⑤ まず、清華大学の学生は非常に勤勉だと感じました。土日も研究室に来ており時間が空けば研究しているような感覚です。また、修士の修了要件として、論文をジャーナルに投稿しなければならず、修士論文とジャーナル用の論文を同時平行で行うなど非常に忙しそうに感じました。私も東工大生として留学している以上、しっかりと研究活動に打ち込みました。日本にいる時以上に研究したように感じられ、研究内容についても満足のいく結果が得られたように感じます。

中国人の日本への感じ方について。12月13日は南京大虐殺が起こった日と言われています。実際その日、黙祷の意を込めて中国全土でサイレンが鳴るようです。やはり中国人にとって忘れてはならない日であるようで皆黙祷していました。ただ、友達から、君は南京大虐殺についてどのように思うのか、日中戦争についてはどうなのか、日本はこれからどのようになるのかなどと歴史問題について色々質問を受けました。ある程度私は中国の歴史について興味があったので色々話し合いましたが、あまり詳しくない人は事前に調べておいたほうが良いと思います。彼らとの話を通じて、より中国の歴史や中国人の考え方など色々知識を深められたかなと感じています。

また中国では現地の人はあまり英語を話しません。そのため、一歩大学の外に出ると中国語オンリーの生活になるため、全く中国語がわからないと非常に困ると思います。私は留学前から東工大で中国語の授業を取っていたためある程度の会話は特にには問題になりませんでした。専門的な話になると話がついていけなくなっていました。ただ、4ヶ月中国に生活して最終的には中国語で自分の研究を発表できるようになるなど、中国語も相当上達したと感じました。

⑥ 留学費用について。往復航空券はキャンパスアジアから支給されました。寮費に関しては免除という扱いです。また生活費として、中国政府から毎月 3000 元振り込まれました。大学内でご飯を食べる分には、一食 100 円程度で済むためむしろ余るくらいでした。また、地下鉄なども一回乗って 100 円もしないので非常に安く出かけることが出来ました。通信費として、学生限定の SIM カードを買くと毎月 1000 円程度でデータ通信使い放題になります。保険は、東工大指定の保険に入りました。およそ 6 万円程度でした。去年から清華大学に留学する際は、中国政府が指定した医療機関での健康診断書提出が義務付けられ、その費用として 3 万円程度負担しました。ちなみに私は代々木の日中友好病院で受診しました。

⑦寮は大学内にあり、徒歩 1 分でスーパーマーケット、食堂があり非常に便利でした。部屋は二つ、リビングが一つ、そして共有のトイレ、シャワーがあります。一応個室とはなっていますが、壁が非常に薄いので、隣人の声などうるさく感じた時もありました。外国人と中国人のルームシェアと決まっているらしく、私のルームメイトは東北出身の博士課程の中国人でした。

⑧前述した通り、ゼミでは英語を用いて発表をしていました。特に問題は感じませんでした。私の研究の特徴として、中国語の論文を読まなければならず、辞書片手に必死に読んでいました。

そのためにも、中国語の学習は必須だなと感じました。

⑨留学中履修登録をしていなかったなので単位交換はありません。また在学期間の延長もありません。

⑩他の学生たちと同じように3月から就職活動を始める予定です。

⑪一度、大学の外で羊肉串を食べた時、恐らく生焼けだったらしく帰り道から腹痛、吐き気が始まり、寮に帰った時には、下痢嘔吐でトイレから出られない状態が続きました。その次の日も症状は続き、ベッドから立ち上がれない状態でした。そしてその次の日病院に行き薬の処方、そして点滴を打ってもらい、段々と症状は回復していきました。飲食店での衛生状況は場所によっては非常に劣悪でしっかり焼けているかどうか確認してから食べたほうが良いと思います。

⑫キャンパスアジアのプログラムで派遣していただきましたが、未だに韓国に留学する人が多く感じます。恐らく語学の問題による事だと思いますが、清華大学でも英語の授業が開講されているため、英語だけでも留学することは可能です。日中友好のためにももっとたくさんの学生に中国留学してもらいたいと思います。